

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	幡多希望の家医療福祉センター 多機能型事業所さくらんぼ(児童発達支援事業)		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種で関ることができ、情報共有や検討が出来る	1/月は、多職種が集まり利用児童のケースカンファレンスを行っている	児童の成長発達に応じた取り組みを行っていく為に、これからも定期的や変化が有る時などは会を待たずに話し合いの場を設定し協議していく
2	子ども一人一人に合わせた支援の提供を行う	多職種間での意見交換がしやすい職場なので、各専門性を用いて子供の支援を検討している	アセスメントツールの見直しを行い、より有効な支援に繋げていく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現職員数では、すべての送迎希望に対応できていない	生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービスの多機能型事業所として運営を行っている。地域性もあり送迎が広範囲になっている 医療ケアの必要な児童を受け入れる事業所が、地域に少ない	保護者の方に再度二一歳の確認を行い、事業所と保護者で出来る方法を探っていく
2	感染予防の為に、地域に開かれた事業所運営が出来ていない	感染対策は少しずつ変わってはいるものの、地域との関りが薄い	まずは地域との合同訓練を行って行き、保護者にも積極的に呼びかけを行う
3			